

令和5年度 第4回

学校運営協議会



【なかよし学級太鼓教室】



【年長児1年生授業見学】



【大谷翔平選手寄贈グローブイベント】

日時：令和6年2月6日(火) 10:00～12:00

場所：浜松市立可美小学校 会議室

次 第

- | | | |
|---|---------------------------------------|--------|
| 1 | 開会の言葉 | 10:00~ |
| | ・開催要件の確認 | |
| | ・日程説明 | |
| 2 | 会長挨拶 | |
| 3 | 校長挨拶 | |
| 4 | 授業参観 | 10:25~ |
| 5 | 議長の選出 | 11:00~ |
| 6 | 前回議事録の確認 | |
| 7 | 熟議 | 11:05~ |
| | (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む） | |
| | (2) 来年度の学校運営の基本方針の説明 | |
| | (3) 学校運営協議会の自己評価 | |
| | (4) 夢育やらまいか（CS加算分）報告 | |
| 8 | 連絡 | |
| | (1) 令和6年度 第1回学校運営協議会 | |
| | 令和6年5月15日（水）10:00~12:00 会議室 | |
| 9 | 閉会の言葉 | 12:00 |

第4回 学校運営協議会出席者名簿

学校運営協議会委員

会長	須佐 勝己
副会長	大畑 尉智子
委員	小野田 哲也
委員	内山 和博
委員	田中 亜希子
委員	中村 精志
委員・学校支援コーディネーター	河合 さくら
委員・学校支援コーディネーター	高柳 桃子

オブザーバー

浜松市議会議員	小野田 康弘
可美協働センター	門奈 暁彦

学校

校長	中村 孝夫
教頭	夏目 聡美
主幹教諭	藤井 光広
CS担当教職員	長谷川 明美
CSディレクター	河合 昭子

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 5月17日 水曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 熟議 ⇒ 承認 (2)夢育やらまいかCS加算分についての 意見書について	
2	令和5年 9月15日 金曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 学校評価の中間報告について <input type="checkbox"/> 地域と連携・協働した教育活動について	
3	令和5年 12月14日 木曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 学校運営について(全国学力・学習状況 調査を振り返って) <input type="checkbox"/> 学校運営に必要な支援について	
4	令和6年 2月6日 火曜日 10:00～12:00 会議室	熟議テーマ <input type="checkbox"/> 学校関係者評価 学校の自己評価説明⇒改善策について 熟議⇒次年度へ <input type="checkbox"/> 次年度学校運営の基本方針について <input type="checkbox"/> 学校運営協議会の自己評価 <input type="checkbox"/> 夢育やらまいかCS加算分の報告	



可美っ子

浜松市立可美小学校
学校だより No. 10
令和6年1月17日
Kami-e@hamamatsu-szo.ed.jp

令和5年度教育活動に関するアンケートから

可美小学校の学校教育目標「美しい心でともに未来に向かって輝く子」のもと、学び合う子、認め合う子、高め合う子を育てるために、重点施策を設定して、様々な教育活動を行ってきました。それらの内容について目標が達成できているか確認し、今後に生かしていくために、保護者の皆様・児童・教員の3者からアンケートを取りました。以下に、アンケート結果の概要を報告します。

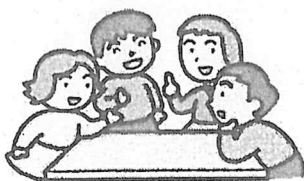
【学び合う子】に関する内容

- 「子供たちは、楽しく授業に参加している」の項目は「そう思う」と「大体そう思う」と答えた方が全体の90%以上を占め、授業に楽しんで取り組んでいる様子が分かります。しかし、子供の5パーセントは「授業が楽しくない」と答えており、これからも意欲的に授業に参加できるよう、単元を見通した学習計画を、児童と共に立てたり、児童自身が「何を、どのように、何のために」学ぶかを考えられるよう、キャリア教育とも関連付けながら授業を行っていきます。
- ICT教育については、90%以上が「できている」と回答しました。今後もICT機器を積極的に活用するとともに、情報モラル教育の充実を図っていきます。
- 家庭学習の取り組みについては、保護者が「できている」と回答した割合は75%程度と低かったです。昨年度よりは向上が見られますが、今後も家庭学習が習慣化されるよう手立てを工夫していきます。また、毎週水曜日のタブレットでの家庭学習に、引き続き取り組んでいきます。
なお、タブレット学習の日の、持ち帰りのタブレットが重く大変そうだという意見をいただきました。子供たちの持ち物を考慮することで、負担の軽減が図れるようにしていきます。



【認め合う子】に関する内容

- 90%近くの子供が「安心して楽しく学校生活を送っている」と回答しましたが、「そうではない」と回答した子もいます。「楽しくない、安心できない」と答えた子供たちの気持ちに気づき、寄り添った支援に努めます。



- 挨拶や言葉遣いに関しては、80%程度が「できている」と回答しました。挨拶に関しては「挨拶協力校」ということもあり、挨拶に関する意識は高まっています。

挨拶や言葉遣いは基本的な生活習慣です。明るい挨拶のできる子供、正しい言葉遣いのできる子供を、学校、家庭、地域の大人も子供もみんなが意識していけるよう、引き続き啓発活動に努めていきます。



【高め合う子】に関する内容



- 「体を動かしたり、外で遊んだりすることが好き」と70%程度の児童が回答しましたが、「そうではない」と回答した児童が20%程度おり、2極化が進んでいます。運動することのよさや楽しさを実感できる活動や場の設定に努めていきます。また、短期的な運動の意義だけでなく、生涯スポーツを意識させ、将来にわたりスポーツをより身近なものとするよう声掛けを続けていきます。

- 「好き嫌いなく食事をしている」と回答した割合が児童は80%程度、保護者は70%程度となっています。栄養バランスよく朝食を食べている子供の割合も低くなっています。給食指導を通し、子供たちにバランスの良い食事をする事の大切さを指導していきます。なお、家庭でも子供たちに好き嫌いなくバランスの良い食事をする事の大切さについて、話題にしてください。



全体を通して

アンケートを分析し、目標を達成できたことはさらに伸ばし、達成できなかったことについては課題として捉えて分析し、それらを参考に来年度の教育活動を考えていきます。

学校と家庭、そして地域の方々の協力や連携があつてこそ、子供たちは成長していくことができます。そのためには、学校と家庭、地域が同じ視線で可美小の子を育てていけるよう、今後ともご理解とご協力をお願いします。

詳しい結果につきましては、ホームページに掲載いたしました。是非ご覧ください。



今年度は150周年という節目の年でした。たくさんの方の協力により、学校教育活動において大きな成果をあげることができました。来年度に向けて、さらにパワーアップして取り組めるよう頑張ってまいります。

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立可美小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校のニーズを把握し、よりよい学校教育活動を推進していくために、どんな支援ができるのか、どこにどのように働きかければよいのか、熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

○2年目となり、基本方針についての理解も深まり、活発な熟議ができた。
○学校の教育目標を理解・共有することができた。目標に沿った活動についても説明を受け、共有した上での熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

○2年目ということもあり、昨年よりもどの活動がどの目標に結びつくのかということを広い視野で考え、意見交換ができたと感じる。現状の問題点を解決するだけでなく、目指す子供の姿や地域とのつながりを踏まえて考えられていた。
○学校側からの支援の要望として家庭科授業でのミシンボランティアとキャリア教育で訪問する地域のお店を紹介して欲しいとの話があった。これを受けて、コーディネーターが訪問先を探したり、ミシンボランティアの活動に協力したりした。
○外部講師実績より、地域社会教育活動の充実につながり、有意義で大きな成果があったと思われる。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

○地域の協力を仰ぐため、協議会での活動を知っていただく、必要があることは、昨年度の評価に盛り込まれていたが、まだ不十分であるように思われる。
○地域の回覧にての学校の活動報告は、多くの方に広く理解を得られると思う。
○可美小ブログ、学校だより等で十分な情報発信はされていると思われる。
○PTAに対しては、会長が委員の中にいることで理事会の際に情報発信ができています。
○民生委員に趣旨を説明したところ、地域の方に見守り隊への加入呼びかけに協力してもらうことができた。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

○地域住民に対しての情報発信を強化したい。協議会の活動に興味をもってもらえる情報発信の方法を考えていきたい。
○子供たちが安全に登校できるように、登下校時の見守りについて地域の理解と支援を得られるように方策を考えたい。
○ボランティア協力される方への募集、連絡など、学校と地域住民との繋がりに取り組みたい。
○地域社会との連携を強くしていき、みんなで子供たちをバックアップしていきたい。

(様式2)

令和 6年 3月 1日

浜松市教育委員会 教育総務課
学校・地域連携担当課長

浜松市立可美小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 小野田 哲也

夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	ア	心の教育の推進	学区に住む和太鼓の指導者を招き、発達支援学級の児童に対して和太鼓教室を開催した。練習の成果を音楽会で発表し、達成感を味わうことができた。
2	イ	教科等学習支援の充実	5年生国語科で浜松市出身の落語家を招き、落語講座を開催した。児童が意欲をもって学習に取り組むことができた。また、第一線で活躍する方の話を聞くことは、キャリア教育の視点からも有意義であった。
3	ク	環境教育・美化活動の推進	校内にある花壇に地域のボランティアの協力を得て花を育てることで、教育環境の向上を図ることができた。また、花を育てることを通して、子供たちの生命を尊重する心を育てると共に情操を育む上で有効であった。

3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり